

論文審査の結果の要旨

申請者氏名 國分 圭介

---

1950年代に政治的独立を達成したマレーシアは、マレー人と華僑と印僑とからなる「複合社会」という社会経済構造をひき継いだ。独立後マレーシア政府はこの構造を克服させるため1970年以降、積極的な政策介入を始めた。その重要な柱が、貧しいマレー人が集中的に居住する農村地域と豊かな中国人等が居住する都市部といった地域間の所得格差を、農村部など遅れた地域への産業の地域的分散化を図ることで解消させていこうという産業立地政策であった。本論文は、マレーシアでも半島部マレーシアに限定して、このような産業の地域的立地の動向が地域間の経済格差にどのような影響を与えてきたかを、実態調査と歴史的統計を利用した数量経済分析とを組み合わせで解明したものである。

第1章では、1970年から90年までを通じて、州間の経済格差が拡大する傾向にあったこと、また、工業化の進展と空間的拡大によって産業構造上の格差が縮小するなかで、生産性の格差は拡大する傾向にあったこと、さらに、構造格差の縮小もまた、「先進グループ」内で起こっていたものに過ぎなかったことが明らかにされた。産業の分散化による州間格差の縮小は、せいぜい「先進グループ」という限られた空間の中で達成されたものに過ぎず、また生産性の高い活動に至ってはますます一部の所得の高い州に集中する傾向にあったことが明らかにされている。

第2章では、執筆者自らが2002年9月から2003年2月に実施した、マレーシアに立地する日系製造業企業95社に対するアンケート調査により得られたデータをもとに、日系企業の立地選択の決定要因が析出されている。スランゴール、ペナン、ジョホールの主要3州とそれ以外の州で、生産環境の充足度が大きく異なること、また主要3州の優位性を決定している立地環境が、道路、電気などの「物理的立地環境」ではなく、カスタマー、労働力などの「高次立地環境」であることが明らかとなった。また、税制などの政府の施策については、地域間で目立った差が無く、日系企業の分散化にとってはさほど大きな貢献をしてこなかったことを示唆する結果となった。

続いて第3章では、第2章で重要性が明らかとなった企業間関係に着目し、1947年から2000年までの産業の集積と分散のサイクルのメカニズムに関する発展段階的な仮説を「素材産業」と「加工組立業」について別々に提示し、年次の異なる人口センサス・データを繋いで作り出した統計指標を用いてこれを検証している。すなわち、素材産業については、当初は製品の主要な供給先である関連産業の近隣に立地する。後に技術の標準化によって、また輸出向け生産の拡大によって関連産業の相対的な重要度が低下するに及んで、より遠隔地への分散化を伴う持続的な発展が起こる。やがて製品が低迷期を迎えると、企業の関心は新しい生産方法へと向かい、再び技術は非標準化され、当該産業の企業同士で地理的に近接して立地することが重要になる。また加工組立業については、産業発展の初期には、海外から導入された技術を求めて互いに近接して立地する。後に技術の標準化に伴って生産が拡大すると、しだいに企業の関心は品質の向上へと向

かい、関連産業の近隣に立地することが重要になる。やがて製品が低迷期を迎えると、企業の関心は新しい生産方法へと向かい、再び技術は非標準化され、当該産業の企業同士で地理的に近接して立地することが重要になる。このような発展段階的サイクルがマレーシアで存在したことが、長期データに基づく数量経済分析で明らかにされている。

この論文は、全体として以下2点の重要な結論を導出している。第1に、第1章で製造業企業の大都市への集積の結果、30年以上にも渡って行われた地域開発政策・産業分散化政策にも拘らず、マレーシアの地域間格差は改善されなかった。そして第2に、マレーシアにおける産業立地は、企業間関係や労働力の集積地を求める企業の利益追求行動、すなわち「市場メカニズム」により決定されており、政府の政策は、この力を十分制御できなかった。以上が本論文の主たる結論である。

同様の主題を取り扱った先行研究を以下のような点で大きく前進・深化させている。まず、長期データの発掘によって産業立地分析を前進させている。ついで、「総合タイル係数」といった新しい統計式を工夫することで、産業立地のあり方の地域経済格差への影響を明確に析出している。最後に、特に、マレーシア経済の牽引役を担ってきた日系企業も含めて、その立地要因を詳細に明らかにすることで、産業立地要因の分析を深化させている。

以上のように、本論文は経済開発論の領域で学術上貢献するところは大きいだけでなく、政策への応用面でも重要な価値を持っていると判断できる。このような判断から、審査委員全員本論文が博士(農学)に十分値するものと結論した。